

# 10月の新着本

## 10月9日(土) 貸し出し開始

【一般図書】

貝に続く場所にて	石沢 麻衣	コロナ禍が影を落とす異国の街に9年前の光景が重なり合う。ドイツの学術都市に暮らす私の元に、震災で行方不明になったはずの友人が現れる。人と場所の記憶に向かい合い、静謐な祈りを込めて描く鎮魂の物語。第64回群像新人文学賞受賞のデビュー作。【第165回芥川賞受賞】
代理母、はじめました	垣谷 美雨	底辺女子が人生逆転!? 不遇な家庭に育った17才のユキが子供を持ちたい人々と貧困女性を救う“代理母ビジネス”の賭けに出る。日本の生殖医療の間、貧困層の増大、妊娠・出産をめぐる負担など、現代日本が放置した社会問題を明るみにしながら、「代理母」ビジネスのタブーに切り込んだ問題作。
岸恵子自伝 卵を割らなければ、オムレツは食べられない	岸 恵子	戦争体験、女優デビュー、人気絶頂期の国際結婚、医師・映画監督である夫イヴ・シャンピと過ごした日々、娘デルフィーヌの逞しい成長への歓びと哀しみ……。その豊郁たる人生を、川端康成、市川崑ら文化人・映画人たちとの交流や、中東・アフリカで敢行した苛酷な取材経験なども織り交ぜ、綴る。円熟の筆が紡ぎ出す渾身の自伝。
テスカトリポカ	佐藤 究	メキシコの麻薬密売人と日本人の臓器ブローカー、二人は新たな臓器ビジネスを実現させるため日本へと向かう。海を越えて交錯する運命の背後に、滅亡した王国(アステカ)の恐るべき神の影がちらつく。人間は暴力から逃れられるのか。心臓密売人の恐怖がやってくる。誰も見たことのない、圧倒的な悪夢と祝祭が、幕を開ける。【第34回山本周五郎賞受賞】【第165回直木賞受賞】
星落ちて、なお	澤田 瞳子	鬼才・河鍋暁斎を父に持った娘・暁翠の数奇な人生とは。父の影に翻弄され、激動の時代を生き抜いた女絵師の一代記。【第165回直木賞受賞】
琥珀の夏	辻村 深月	かつてカルトと批判された〈ミライの学校〉の敷地から発見された子どもの白骨死体。弁護士の法子は、遺体が自分の知る少女のものではないかと胸騒ぎをおぼえる。30年前の記憶の扉が開き、幼い日の友情と罪があふれた。
サキの忘れ物	津村 記久子	ある日、千春はバイト先の喫茶店で客が忘れていった一冊の本を手にする。それは誰からもまともに取り合ってもらえなかった彼女がはじめて読み通した本となった。十年後、書店員となった千春の前に現れたのは…。人生は、ほんとうにちいさなことをきっかけに動き出す。たやすくはない日々を宿る僥倖のような、まなざしあたたかな短篇集
広告の会社作りしました	中村 航	いい仕事、いい会社ってなんだろう!? 突然会社の倒産を告げられ無職になってしまったデザイナーの遠山健一、安定した転職先を求めたはずが飛び込んだ職場はコピーライター・天津孔明の個人事務所、まさかのフリーランスだった。変わり者の天津とコンビを組む事になった健一。そしてやってきた仕事は大企業とカタログのデザインをかけた“出来レース”のコンペで……。!?。
めんどくさがりなきみのための文章教室	はやみね かおる	人気児童書作家が贈る、小説を読むだけで文章がうまくなる本! めんどくさがりな人ほど、文章の才能がある——だれでも文章が上達する方法を、ぼっちゃり猫が小説形式で楽しく教えます。作文、メール、レポートから小説まで、これ1冊で書ける!
リボルバー	原田 マハ	週一回のオークションで扱うのは、どこかのクローゼットに眠っていた誰かにとっての「お宝」ばかり。高額な絵画取引に携わりたいと願っていた冴の元にある日、錆びついた一丁のリボルバーが持ち込まれる。それはフィンセント・ファン・ゴッホの自殺に使われたものだという。「ゴッホの死」。アート史上最大の謎に迫る、著者渾身の傑作ミステリ。
雷神	道尾 秀介	なぜ、母は死んだのか。父は本当に「罪」を犯したのか。村の伝統祭(神鳴講)が行われたあの日、事件の発端となった一筋の雷撃。後に世間を震撼させる一通の手紙。父が生涯隠し続けた一枚の写真。そして、現代で繰り広げられる新たな悲劇——。ささいな善意と隠された悪意。決して交わるはずのなかった運命が交錯するとき、怒濤のクライマックスが訪れる。
総務課の播上君のお弁当ひとくちもらえますか?	森崎 緩	札幌の企業に就職し、新生活をスタートさせた料理男子・播上。昔から料理好きで毎日弁当を持参していた播上は、ある日弁当袋を手に暗い顔の同期の清水に気づく。“メシ友”から恋人へ。お弁当が結ぶ、ちょっぴり鈍感でのんびり屋さんの恋愛ストーリー! 【第6回ネット小説大賞受賞】
ねこでよければ ②	やまもと りえ	かわいい友達を前についいいじられ役を買って出してしまう女の子、子供は愛おしいのにワンオペ育児に悩むお母さん、東京にあこがれて出てきたもののホームシックに陥る青年…。今日もねこさんの「話聞きます」屋さんには、さまざまな人が立ち寄ります。ねこさんが話を聞いてくれてなんだか心が軽くなるお話

月下のサクラ	柚月 裕子	事件現場で収集した情報を解析・プロファイリングをし、解決へと導く機動分析係。森口泉は当て逃げ事件の捜査を始める。そんな折、会計課の金庫から約一億円が盗まれていることが発覚した。メンバー総出で捜査を開始するが、犯行は内部の者である線が濃厚で、やがて殺人事件へと発展してしまう……。
彼岸花が咲く島	李 琴峰	舞台はとある島国。彼岸花の咲き誇る砂浜に倒れ、すべての記憶を失っていた少女は、島に住む少女・游娜(ヨナ)に救助された。島にたどり着く以前の記憶を失っていた少女は、「宇美」と名付けられる。この島では、島の歴史を語り継ぐ女性指導者「ノロ」たちの下、自然や神々を尊ぶのんびりとした生活が営まれているようだ。特に、宇美が戸惑ったのは、島で使われる2つの言語「ニホン語」と「女語」だった。【第165回芥川賞受賞】

☆ 児童図書・絵本は、別途掲示しています。

なお次回新着本は、12月11日から貸出いたします。

